

2013 年度春学期授業評価アンケート調査について 東洋大学国際地域学部国際観光学科

国際地域学部では、2013 年度春学期に授業評価アンケートを実施しました。

国際地域学部では、毎年実施する授業評価アンケートの結果を教員の授業改善に向けた議論に役立てています。わかりやすい授業をすること、それぞれの分野に必要な知識をしっかりと身につけることとの両立をめざして改善に取り組んでいるところです。

2013 年度春学期におけるアンケート実施科目数は、国際地域学部全体で 160 科目、回答者延べ数 8,927 名ですが、その中で国際観光学科に関連するアンケート結果（回答者延べ数 3,995 名、アンケート対象者延べ数 5,224 名、有効回答率 77%）を下記に示します。

1. 回答者属性等について

表 1 から表 3 までに、回答者の個人属性を示します。アンケートは、国際観光学科の教員が担当している授業であるため、回答者の一部に経済学部、経営学部、文学部学生がいますが、ほとんどが国際地域学部学生であることがわかります。また、学年の構成比率では 1 年生がもっとも割合が高く、4 年生が少ないこと、回答者の出席状況では、「一度も欠席なし」、「1-2 回の欠席」が多いものの、5 回以上欠席した回答者が 61 名との結果となりました。授業に出席することが、授業履修の第 1 歩であるため、学生のしっかりとした授業参画を希望します。

また、表 4 に示すように受講人数の適切さでは、1,771 名（45%）が「多すぎる」もしくは「やや多い」と回答した。2012 年度秋では、26%にとどまっていたため、より適切なクラスサイズについて検討する必要があると考えています。

表 1 回答者の所属学部

学部	文	経済	経営	法	社会	理工	国際	生命	ライフ	総合	食環	有効回答	無効回答
	61	78	82	30	12	1	3,717	0	1	0	0	3,982	13

表 2 回答者の学年

学年	1年	2年	3年	4年	その他	有効回答	無効回答
	1,586	1,096	1,063	230	2	3,977	18

表 3 回答者の出席状況

出席状況	一度も欠席なし	1~2回の欠席	3~4回の欠席	5回以上欠席	有効回答	無効回答
	1,858	1,584	412	61	3,915	80

表 4 受講人数の適切さについての回答分布

受講人数の適切さ	多すぎる	やや多い	適切	やや少ない	少なすぎる	有効回答	無効回答
	488	1,283	2,138	43	12	3,964	31

2. 授業についての評価

2.1 授業のわかりやすさについて

表5上段に、2013年春学期の授業のわかりやすさについての回答分布を示す。国際観光学科の評価が高い項目として、

「5. 先生の声は聞き取りやすかったですか。」

「4. スクリーンに投影される文字や図表は読みやすく作成されていましたか」

以上の2つがあげられる一方、最も評価が悪い項目として、下記が指摘されました。

「3. 黒板の板書は読みやすく書かれていましたか。」

この板書については、大学全体平均よりも評価が悪いため、特に改善の余地があると考えられます。

また、前年度秋学期、学部平均、大学全体との比較いずれについても評価が低下しており、改善が必要と考えられる。

表5 授業のわかりやすさについての回答分布(上段：2013年度春学期，下段：2012年度秋学期)

問	設問	当学科平均	当学部平均	全体平均	回答数/回答率(%)					有効回答	無効回答
					1	2	3	4	5		
A. 授業のわかりやすさについて											
1	先生の説明は、あなたにとってわかりやすかったですか。	3.07	3.14	3.13	わかりやすかった 1,331 33.5%	わりにわかりやすかった 1,759 44.3%	ややわかりにくかった 706 17.8%	わかりにくかった 179 4.5%		3,975	20
2	使用した教科書、参考書、配布資料などの教材は役に立ちましたか。	3.15	3.21	3.22	役に立った 1,309 33.0%	わりに役に立った 1,808 45.6%	あまり役に立たなかった 558 14.1%	役に立たなかった 101 2.5%	これらの教材は使わなかった 191 4.8%	3,967	28
3	黒板の板書は読みやすく書かれていましたか。	2.94	3.03	3.04	見やすかった 751 18.9%	わりに見やすかった 1,136 28.6%	あまり見やすくなかった 569 14.3%	見やすくなかった 171 4.3%	板書はしなかった 1,342 33.8%	3,969	26
4	スクリーンに投影される文字や図表(パワーポイント、実物投影機、OHP等を含む)は読みやすく作成されていましたか。	3.21	3.27	3.29	見やすかった 1,153 29.1%	わりに見やすかった 1,160 29.2%	あまり見やすくなかった 384 9.7%	見やすくなかった 97 2.4%	パワーポイント等は使わなかった 1,173 29.6%	3,967	28
5	先生の声は聞き取りやすかったですか。	3.29	3.36	3.39	聞き取りやすかった 1,911 48.1%	わりに聞き取りやすかった 1,430 36.0%	あまり聞き取りやすくなかった 514 12.9%	聞き取りやすくなかった 115 2.9%		3,970	25
6	総合的に見て、この授業はわかりやすかったですか。	3.07	3.16	3.16	わかりやすかった 1,336 33.7%	わりにわかりやすかった 1,781 44.9%	ややわかりにくかった 664 16.7%	わかりにくかった 188 4.7%		3,969	26
A. 授業のわかりやすさについて											
1	先生の説明は、あなたにとってわかりやすかったですか。	3.26	3.19	3.15	わかりやすかった 990 45.7%	わりにわかりやすかった 826 38.1%	ややわかりにくかった 274 12.6%	わかりにくかった 77 3.6%		2,167	7
2	使用した教科書、参考書、配布資料などの教材は役に立ちましたか。	3.25	3.24	3.22	役に立った 814 37.7%	わりに役に立った 989 45.8%	あまり役に立たなかった 226 10.5%	役に立たなかった 38 1.8%	これらの教材は使わなかった 94 4.3%	2,161	13
3	黒板の板書は読みやすく書かれていましたか。	3.02	3.03	3.05	見やすかった 539 25.0%	わりに見やすかった 649 30.1%	あまり見やすくなかった 283 13.1%	見やすくなかった 109 5.1%	板書はしなかった 576 26.7%	2,156	18
4	スクリーンに投影される文字や図表(パワーポイント、実物投影機、OHP等を含む)は読みやすく作成されていましたか。	3.33	3.31	3.31	見やすかった 907 41.9%	わりに見やすかった 726 33.5%	あまり見やすくなかった 195 9.0%	見やすくなかった 49 2.3%	パワーポイント等は使わなかった 289 13.3%	2,166	8
5	先生の声は聞き取りやすかったですか。	3.43	3.39	3.43	聞き取りやすかった 1,247 57.6%	わりに聞き取りやすかった 654 30.2%	あまり聞き取りやすくなかった 209 9.6%	聞き取りやすくなかった 56 2.6%		2,166	8
6	総合的に見て、この授業はわかりやすかったですか。	3.26	3.20	3.17	わかりやすかった 980 45.5%	わりにわかりやすかった 832 38.6%	ややわかりにくかった 260 12.1%	わかりにくかった 83 3.9%		2,155	19

2.2 授業運営について

表 6 上段から、評価が高いものは、「3. 授業の開始時間、終了時間は守られていたと思いますか。」である一方、相対的に「2. 先生は私語を注意するなど、受講生が講義に集中できる環境を作っていたと思いますか。」の評価が悪く、講義環境づくりに注力する必要があると考えられます。

また、前節の「授業のわかりやすさ」と同様に、前年度秋学期、学部平均、大学全体との比較いずれについても評価が低下しており、改善が必要と考えられる。

表 6 授業運営について(上段：2013 年度春学期，下段：2012 年度秋学期)

問	設問	当学科 平均	当学部 平均	全体 平均	回答数/回答率(%)					有効 回答	無効 回答	
					1	2	3	4	5			
B. 授業運営について												
1	シラバス(講義要項)に則した内容の授業が行われていたと思いますか。	3.31	3.37	3.37	そう思う	わりにそう思う	あまりそう思わない	そう思わない			3,973	22
					1,559	39.2%	2,118	53.3%	249	6.3%		
2	先生は私語を注意するなど、受講生が講義に集中できる環境を作っていたと思いますか。	3.23	3.30	3.26	そう思う	わりにそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	私語がなかったので注意の必要がない		3,974	21
					1,446	36.4%	1,722	43.3%	440	11.1%		
3	授業の開始時間、終了時間は守られていたと思いますか。	3.45	3.50	3.50	そう思う	わりにそう思う	あまりそう思わない	そう思わない			3,970	25
					2,174	54.8%	1,464	36.9%	262	6.6%		
4	総合的に見て、この授業の運営はどうでしたか。	3.22	3.31	3.33	よかった	わりによかった	あまりよくなかった	よくなかった			3,941	54
					1,475	37.4%	1,949	49.5%	427	10.8%		
問	設問	当学科 平均	当学部 平均	全体 平均	回答数/回答率(%)					有効 回答	無効 回答	
					1	2	3	4	5			
B. 授業運営について												
1	シラバス(講義要項)に則した内容の授業が行われていたと思いますか。	3.38	3.39	3.37	そう思う	わりにそう思う	あまりそう思わない	そう思わない			2,161	13
					1,009	46.7%	989	45.8%	133	6.2%		
2	先生は私語を注意するなど、受講生が講義に集中できる環境を作っていたと思いますか。	3.28	3.31	3.27	そう思う	わりにそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	私語がなかったので注意の必要がない		2,162	12
					881	40.7%	810	37.5%	248	11.5%		
3	授業の開始時間、終了時間は守られていたと思いますか。	3.59	3.58	3.49	そう思う	わりにそう思う	あまりそう思わない	そう思わない			2,148	26
					1,412	65.7%	623	29.0%	91	4.2%		
4	総合的に見て、この授業の運営はどうでしたか。	3.39	3.37	3.35	よかった	わりによかった	あまりよくなかった	よくなかった			2,127	47
					1,086	51.1%	812	38.2%	192	9.0%		

2.3 学習成果について

表 7 上段より、「2. 受講の結果、新しい知識を得ることができましたか。」、「3. 受講の結果、新しいものの見方や考え方を得ることができましたか。」の評価に比べて、選択肢 1「あなたは講義中に熱心に受講したと思いますか。」ならびに選択肢 4「この授業へのあなた自身の取り組み、この授業から得られたことなど総合的に見て、あなた自身の自己評価はどうですか。」の評価が相対的に低くなっています。言い換えると受動的には授業による学習成果をみとめるものの、能動的な評価として充分でないと考えられ、より自発的な授業への取り組みをどのようにきっかけとして提供していくかが問題と考えられます。

また、前節と同様に、前年度秋学期、学部平均、大学全体との比較いずれについても評価が低下しており、改善が必要と考えられる。

3. 総評

まず、授業についての評価において、比較的低い評価であった項目は、

- ・「3. 黒板の板書は読みやすく書かれていましたか。」
- ・「2. 先生は私語を注意するなど、受講生が講義に集中できる環境を作っていたと思いますか。」

以上の2項目でした。

また、授業の特に学習成果についてみると、受動的評価項目では学習成果をみとめるものの、能動的な評価が充分高くなく、より自発的な授業への取り組みを実現させ、それを通じた満足度の上昇が必要不可欠であると考えられます。

さらに、今回の調査における最も大きな問題点として、前年度秋学期、学部平均、大学全体との比較いずれについても評価が低下していることがあげられます。前年度秋学期では、学部平均、大学全体よりも高評価であったことと比較すると、いずれの評価項目とも平均値を下回っています。これらについて、2時点で共通する被験者に限定した評点の比較、各科目の評点分布の確認などを行い、評点が低下した原因を把握することが必要と考えられる。

また、その他の項目において評価が低かった項目をその対応策とあわせて下記に列挙します。

- ・5回以上欠席した回答者が61名いたこと

(対策：学生のしっかりとした授業参画への誘導を適切に行うこと)、

- ・受講人数の適切さにおいて、45%の学生が、多すぎる、やや多いと回答していること

(対策：適切なクラスサイズについて、教室数との兼ね合いを検討しながら、時間割の検討などを行うこと)。

以上